

京 都 市
〔担当 総務局国際化推進室〕
電話 222-3072

「京都市名誉親善大使」の新規設置及び フランス人芸術家3名への委嘱について

京都市では、平成20年12月、「京都市国際化推進プラン」を策定しました。プランでは、世界中の人々を京都に引き寄せ交流することが新たな文化を生み、経済を活性化させ、国際的に魅力あふれる京都の創生に大きく貢献するとの理念のもと、「世界がときめくまち・京都～世界の人々をひきよせる京都の魅力の向上と発信～」を国際化に向けた目標の一つに掲げています。

この度、その具体的な取組のひとつとして、京都の多彩な魅力を世界に発信するとともに、本市の施策に対する助言をいただくため、新たに「京都市名誉親善大使」を設置しますので、お知らせします。

フランス・パリ市との姉妹都市盟約締結50周年の節目を迎える今年度、国際的に活躍され、京都の大ファンでもあるフランス人芸術家3名の方々を初めての同大使として委嘱し、今後、奥深い京都の魅力を世界にアピールしていただきます。

記

1 「京都市名誉親善大使」



〈Muriel Barbery〉



〈Stéphane Barbery〉



〈Clémentine〉

○ミユリエル・バルベリ氏 〈Muriel Barbery〉作家、京都市在住

平成12(2000)年のデビュー作『至福の味』がフランス最優秀料理小説賞を受賞、12ヶ国語に翻訳される大ヒットとなった。続く、平成18(2006)年の『優雅なハリネズミ』もフランスで数多くの賞を受賞するミリオンセラーに。平成20(2008)年1月、関西日仏交流会館ヴィラ九条山に招聘され、夫ステファン氏と来日。現在、京都をテーマとした3作目を執筆中。

○ステファン・バルベリ氏〈Stéphane Barbéry〉写真家・作家，京都市在住

若い頃より日本好きで，平成 20（2008）年 1 月に妻ミュリエル氏と共に来日して以来，日本の木々や京都の美しい自然を題材にした作品などが収められた写真集や，“幽玄の間”と囲碁用具をテーマとした映像を作成するなど精力的に活動している。世界で最も美しいまち・京都の美を探究することと，日本語の集中学習がこの数ヶ月の課題。

○クレモンティーヌ氏〈Clémentine〉歌手，パリ市在住

日本で最も愛されるフランス人歌手。今までのレコードセールスはトータル 150 万枚以上。昭和 62（1987）年のデビュー以来，ジャズ，ポップス，ボサノヴァなど様々なジャンルを手がけ，ヨーロッパ全土及び日本，韓国，台湾などアジアで幅広く活躍している。17 年前から毎年のように来日。京都の景観や伝統文化のファンで，来日の際には頻繁に京都を訪問している。

2 活動内容

京都をテーマとした作品の制作等を通じて，広く京都の魅力を世界に発信いただくとともに，本市の施策への助言をいただく。

※ 京都を発信するためのツールとして，京都市が日本語とフランス語を併記した名刺を発行

3 委嘱式

- (1) 日 時 平成 21 年 2 月 19 日（木）
午後 4 時から午後 4 時 30 分まで
- (2) 場 所 本庁舎 3 階第一応接室

※ただし，パリ市在住のクレモンティーヌ氏は，欠席されます。

取材上の注意：バルベリ両氏の意向によりテレビカメラの撮影はお断りします（写真は可）。

（参考）

■京都市名誉親善大使の資格と任期等

国籍に関わらず，京都市内外で活躍している文化人，学識経験者，留学生その他の京都に関する情報を発信するにふさわしい方の中から市長が選出し，委嘱する。任期は，委嘱の日から 4 年後の年度末までとし，報酬は支給しない。